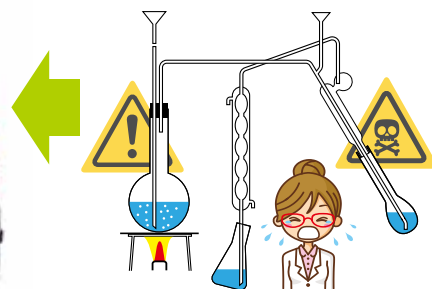


ご存じですか？ 日本薬局方および医薬部外品原料規格では、自動化装置での窒素定量が認められています。

第十五改正日本薬局方第二追補にて、窒素定量法でケルダールの自動化装置が使用できると認められました。より安全で簡単な窒素定量分析を行うために、ビュッヒのケルダール装置をご検討ください！



皆さんの疑問にお答えします

日本薬局方はガラス製の蒸留装置を組んで分析をしないといけないのでは？

BUCHI

第十五改正日本薬局方第二追補で自動ケルダール分析装置の使用が認められました。

分解にも自動化装置は使える？

BUCHI

過酸化水素の添加時、加熱分解中に酸性ガスが発生しますが、安全でドラフトを痛めないようにする方式でご使用いただけます。

自動化装置を使用して、分析時間は変わる？

BUCHI

手動分析では数十分かかった蒸留過程が、自動化装置では約4分で終了になります。

自動化装置を使用して、結果に問題ない？

BUCHI

装置適合性※の要項に基づき、装置の信頼性を担保できます。

※装置適合性：日本薬局方に記載されている、自動化された装置を用いる場合におこなう適合性試験。アミド硫酸中の窒素含量を求め、14.2 ~ 14.6% の範囲内に収まることが要求されている。

IQ/OQは可能？

BUCHI

可能です。詳細は日本ビュッヒまたは代理店までお問い合わせください。

自動ケルダール蒸留装置K-375/376の利点



- その1** 強アルカリに触れる回数が減り、安全!
- その2** 蒸気に触れることがなくなるので、火傷の心配なし!
- その3** 分析時間が短くなり、省力化!
- その4** 滴定を自動化することで、分析のばらつきを抑制!
- その5** IQ/OQ、LIMS、DI対応!

窒素定量分析を安全で簡単に!
そして作業負担を減らして効率的に

滴定装置を内蔵したトータルソリューション K-375の特長と利点

- 1 滴定装置を内蔵したコンパクトな一体型設計
- 2 大型カラータッチパネル
- 3 日本語表記で簡単操作
- 4 自動アスピレーション機能
- 5 逆滴定分析も可能
- 6 オートサンプラーK-376/377との接続による全自動化
- 7 各種の安全機能(保護ドア、試料管センサーなど)
- 8 IQ/OQ、LIMS対応
- 9 データインテグリティ対応(「製薬パッケージ」は、権限をさらに制限)

マルチタスクソフトウェア

- 10万検体以上の測定データ保存
- ユーザー固有のメソッド設定・保存
- ビュッヒ標準メソッド内蔵
- PCへのデータ転送が容易
- 統計処理/多様なレポート書式
- 日本語表示



ケルダール蒸留装置シリーズ

ビュッヒのケルダール分析装置シリーズは、ベーシックシステムから、滴定装置内蔵型全自動蒸留装置とオートサンプラーを統合したフルオート蒸留分解システムまで取り揃えております。



ケルダール蒸留装置 K-365
イージーケル
従来のケルダールアプリケーション
向けの使いやすい蒸留装置



ケルダール蒸留装置 K-365
ベーシックケル
自動廃液で試薬に触れずに安全な
蒸留装置



ケルダール蒸留装置 K-365
マルチケル
滴定装置を接続することで、自動
蒸留・滴定が可能



ケルダール蒸留装置 K-375
滴定装置を内蔵した全自動ケル
ダール蒸留装置
(オートサンプラーと接続可能)

Quality in your hands

日本ビュッヒ株式会社

本 社 〒110-0008 東京都台東区池之端 2-7-17 IMON ビル 3F
TEL: 03-3821-4777 FAX: 03-3821-4555
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-6-16 新大阪大日ビル 4F
TEL: 06-6195-9241 FAX: 06-6195-9251
エリア担当者駐在: 九州 / 中部 / 北海道

お問い合わせ

nihon@buchi.com | www.buchi.com/ja

- このカタログに記載の価格および仕様、外観は2023年6月現在のものです。
- 製品改良のため、仕様および外観が予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- カタログの色と実際の製品の色とは、多少異なる場合があります。
- 本カタログに記載以外の、運送費、設置費などについては別途お問い合わせください。
- 追加アクセサリや仕様についてご不明な点は別途お問い合わせください。
- ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みください。
- 有機溶媒を使用される際は、適切な排気装置が付いた部屋でご使用ください。

製品別の
電子カタログ
はこちらへ

